

# 銀杏企画三丁目の掲示板

[トップページへ戻る](#)

Name	ボーダー	e-mail	
Title			
Message			
<div style="border: 1px solid black; height: 100px; width: 100%;"></div>			
<input type="button" value="とうこう"/>			

[1795]「障がい者総合福祉法」の議論スタート—改革推進会議① 2010年2月16日 17時40分

国土無双さん e-mail

こんにちは、国土無双です。

いよいよ、内閣府で「障がい者総合福祉法」に関する議論がスタートしたようです。以下、その内容です。

内閣府は2月15日、「障がい者制度改革推進会議」の第3回会合を開き、障害者自立支援法に代わる「障がい者総合福祉法」(仮称)の在り方などについて議論した。会議ではまず、「障害者が地域で生活する権利」がテーマとなった。委員からは、障害者権利条約での自立した生活および地域社会に受け入れられることとの規定を受け、「総合福祉法」で明文化すべきとの意見が続出した。

障害者にとっての「自立」の概念については、障害者団体などでは「自己決定」とイコールという共通理解があるとされた。その上で、北野誠一委員(おおさか地域生活支援ネットワーク理事長)は、「仲間や支援者の支援などを活用して、自分で選んだ当たり前の市民生活を生きること」とする定義を示した。

また、障害者の定義については、社会モデルやICF(国際生活機能分類)に基づいて考えるべきとの意見が多く示された一方で、新谷友良委員(全日本難聴者・中途失聴者団体連合会常務理事)からは、「社会モデル的な障害というのは誰が判断するのか。個別分野で慎重な議論が必要ではないか」と疑問が投げ掛けられた。佐藤久夫委員(日本社会事業大教授)は「総合福祉法」の対象について、障害者の法律とどうたうのであれば、「機能障害か疾患症状があるということを確認した上でサービスの提供対象にする、という手続きが必要ではないか」と述べるなどさまざまな論点を示され、今後継続して議論をしていくことが確認された。

次に続きます

[1794] バレンタインデーは嫌いだ 2010年2月15日 22時47分

レオンさん e-mail

私は、バレンタインデーが嫌いです。ホワイトデーも嫌いです。義理チョコも本命チョコも、もらいたくありません。もっとも、本命チョコなど、もらったためしはないし、これからもないでしょう。

[1793] 鳩山政権と障がい者運動② 2010年2月15日 9時14分

レオンさん e-mail

しかしこれらは自公政権からの政権奪取の一点から導かれた選挙対策にすぎない。民主党内には自民党以上に新自由主義潮流が強固に存在している。彼らの政治哲学は「自己責任論」であり、「手厚い福祉は社会を墮落させる」と言ってはばからない。

彼らは現在社会保障に関して沈黙を守っているが、反転攻勢をかける機会をうかがっている。

しかし、民主党内新自由主義潮流が「活躍」できるチャンスはやってくるだろうか？二〇〇七参議院選、二〇〇九衆議院選での自公敗北の要因のひとつが、年金問題や後期高齢者医療制度導入、そして支援法などの社会保障悪策への圧倒的な怒りの噴出であったことを踏まえるなら、それは容易ではない。

小泉純一郎が絶叫した「改革には痛みが伴う」が、もっとも貧しく、弱い立場の人々の生存を脅かすものであったことが知れ渡ってしまった。

新自由主義が人々に幻想を与えられたのは歴史的にみれば一瞬であった。

「陳情一本化」と岐路に立つ運動

鳩山政権の誕生は、人々の中に「新しい日本が始まる」との大いなる期待感を膨らませた。一方それは「十数年前の細川政権の崩壊と自民党政権の復活のような事態だけはなんとか避けたい」との感覚になり、その直後に噴出した鳩山・小沢の政治資金問題や普天間基地移設問題への「困惑」となっている。

大衆運動にとっては、個別要求の実現のためには、その他の民主党の悪政には沈黙ということが起きてくることが予想される。また陳情が民主党幹事長室に一本化されたことにより、業界団体の自民党離れが加速している。ことはそこにどどまらないだろう。社会勢力が民主党翼賛体制に再編される危険性にわれわれは警告を発しなればならない。

(赤井岳夫)

鳩山政権と障がい者運動／在特会の「ヘイトデモ」に抗議／辺野古実が首相官邸前行動

<http://www.jrcl.net/frame100215b.html>

「社会勢力が民主党翼賛体制に再編される危険性にわれわれは警告を発しなればならない」というのは、本当にその通りかも知れませんね。

[1792] 鳩山政権と障がい者運動① 2010年2月15日 9時6分

レオンさん e-mail

『かけはし』のホームページに、以下の記事が載っていました(『かけはし』2010年2月15日号)。

かけはし2010.2.15号  
鳩山政権と障がい者運動

この百日間を振り返って  
民主党翼賛体制への再編の危険を見すえ独立した運動の堅持を

障がい者政策の大きな転換

鳩山政権は自公政権の障がい者政策を大きく転換させた。特徴的には以下の四点があるだろう。

①障がい当事者から猛烈な反対運動が沸き起こった障がい者自立支援法(以下「支援法」という)の廃止とそれに替わる新法＝障がい者総合福祉法(仮称)の創設を宣言した。

②支援法によるサービス利用の自己負担(応益負担)の導入を、「生存権の保障を定めた憲法に反している」と、全国十四地裁で七十人の障がい当事者と家族が起こした違憲訴訟と、支援法の廃止と自己負担の軽減を明言することで和解した。

③低所得の障がい者の自己負担をなくす内容の予算を計上した。

④鳩山総理を本部長とする障がい者制度改革推進本部を立ち上げ、そのもとで新法を検討する障がい者制度改革推進会議を過半数を障がい当事者とその家族とする構成メンバーで立ち上げた。

ここまでは、支援法に反対して闘ってきたDPI(障がい者インターナショナル日本会議)や全国自立生活センター協議会などの要求を「丸呑み」してきている、逆に言えば運動側の大きな前進ということができだろう。

巻き返し狙う新自由主義派

以上の四点や子ども手当の創設などの政策の打ち出しをみると、鳩山政権は新たな「福祉国家」政策に踏み出したように思える。

[1790] ”心より哀悼の意を表します” 2010年2月12日 12時45分

三八さん e-mail

今日は。三八です。

レオンさん。国士無双さん。Sさんの訃報をお知らせ頂き、有難う御座います。Sさんに対して、心より哀悼の意を表します。

私は在籍中にSさんに大変お世話になりました。笑わせて頂いて助けになった事が偲ばれます。確かにSさんは野球観戦がお好きで、野球に関しては物凄い知識がお有りでした。因みにTさんも野球観戦がお好きで、特にアメリカの野球にお詳しいです。

そして、Sさんは運転もお好きで、車に関してもお詳しくかったです。他に、ツアーでのご旅行も楽しまれました。

話は変わりますが、セカンドは3所の中で一番平均年齢の高い作業所です。しかし、天寿を全うする程の年齢では有りません。

銀杏の皆様。ご自愛の程、これからも頑張ってください。

[1789] ご冥福をお祈り致します 2010年2月11日 21時4分

国士無双さん e-mail

今晚は、国士無双です。

レオンさんの書込み拝見して、私のメール友達にSさんのことお聞きました。私が、セカンドに在籍していたときから、独特の方でした。江夏の話が好きなお方でした。去年から銀杏では、まだ若くして亡くなる方が多く心配です。

掲示板からご冥福をお祈り致します。

[1788] さようなら、Sさん 2010年2月10日 22時56分

レオンさん e-mail

今日(2010年2月10日)、銀杏企画に行ったら、所長さんから大事な話がありました。

2月8日(月曜日)に、セカンドのSさん(男性メンバー)が亡くなられたそうです。

車の事故が原因だそうです。事故で、足に出来た血栓が、心臓に飛んでしまったのが良くなかったようです。享年54歳だそうです。

お通夜は金曜日で、お葬式は土曜日だ、と私は聞きました。

Tさんと特に仲が良かったそうです。野球観戦が好きだったそうです。旅行が好きで、一人で良く旅行に行ったりしていたそうです。みんなから「やめたほうがいい」と言

われていたけれども、運転が好きだったそうです。

とても残念なことです。私の所属している作業所では、みんなで黙とうをしました。私がセカンドのメンバーではないせいもあって、私はSさんとは、あまり交流はありませんでした。

Sさん、さようなら。あまり話が出来なくて、ごめんなさい。

[1786] 群れで飛ぶカナダ雁のように② 2010年2月7日 13時8分

レオンさん e-mail

大学検定試験をパスし、福祉を学んだ後、10年間精神科ソーシャルワーカーとして働いた。そこで出会ったのは、1回目の入院が35年にも及ぶ人たち。感情の起伏をなくすために前頭葉の手術(ロボトミー、現在は禁止)をされた人も。優生保護法により強制不妊手術をされた人は「お母さんやお医者さんがよかれと思ってやってくれた」と言っていた。後に加藤さんの聞き取りでは、説明もなく収容され電気ショックをかけられた人、強い薬でのどが渇いても水がもらえず便器の水を飲んだ人もいる。そして35年の入院の後に地域に帰っても、「浦島太郎状態」で、根強い差別と偏見のある社会の中へ放り出される。

「本当は嫌なのに叫べない。精神病になると、自分の気持ちや意見は『病気のせい』にされるから。環境が病をつくることもある。逆に病があっても、その文化を認めて、『助けて』と言える人間関係や環境を整えば楽しく生きていける。だから当事者が声を上げることが大切です」

続きは本誌で...

かとう まきこ

1954年埼玉県生まれ。精神障害者ピアサポートセンターこらーるたいとう(東京都墨田区)代表。精神障害者のセルフヘルプの取り組みなどを博士論文にし、それをまとめて2009年9月に『精神障害のある人々の自立生活』(現代書館)を出版。

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~koraru/>

つながる／ひろがる／フェミ・ジャーナル-ふえみん- | インタビュー

<http://www.jca.apc.org/femin/interview/kato.html>

「当事者が声を上げることが大切です」というのは、「本当にその通りだ」と思いますね。

[1785] 群れで飛ぶカナダ雁のように① 2010年2月7日 12時54分

レオンさん e-mail

『ふえみん』のホームページに、以下の記事が載っていました(『ふえみん』2010年1月15日号)。

精神障害者ピアサポートセンター代表 加藤 真規子さん  
聞き手: 柏原登希子 撮 影: 飯田典子

群れで飛ぶカナダ雁のように

加藤さんの新著の表紙は、カナダ雁がVの字に群れを作って飛んでいる絵だ。

「カナダ雁はV字編隊で群れとなることで1羽で飛ぶ時よりも71%も飛行距離を延ばすことができる。後ろの鳥は前に飛ぶ鳥を常に鳴き声で励まし、疲れたら前後交代することでスピードを保って、もし1羽が脱落したら2羽が付き添って別の群れに合流するんです」

北米のマイノリティーの人々のセルフヘルプ・グループで道標とされているこの教訓。これを知った当時、抑うつ状態を再発していた加藤さんは、精神障害者のピア(同じ立場同士の)カウンセリング、そして女性や障害者、同性愛者のセルフヘルプ・グループに支えられていた。対等に時間を分け合って、「私」の「気持ち」や「感情」を語り合い、聴き合い、分かち合うことで、加藤さんは自分の気持ちに蓋をしていたことに気づいた。抑えていた怒りが堰を切ったように溢れ出た時期も仲間は支えてくれた。やがて「閉じている時も開いている時もどちらも大切な自分」と心底思えた。

いじめなどが原因で15歳から8年間引きこもった。16歳の時に高校への通学に備え集団生活をしたいと精神病院に入院したが、ここにいたら静養できない、余計に悪くなると思った。

「病気になるには過程も理由もあるのに、医師や専門家が薬を与えて、本人の代わりに全部考えてあげますって。親切に見えて実はとんでもなくその人の本体を奪ってしまうのでは？」

日本の精神医療は精神障害者を病院に強制隔離する「収容主義」と薬物療法に頼ってきた。近年「入院医療から地域生活へ」という方向性が掲げられるも、日本の精神病院入院患者数はいまだ約34万人と世界で突出して多い。欧米の入院日数は6週間程度なのに対し、約5割が5年以上の入院だ。精神病院での人権侵害は毎年報道されているのに、2003年には大阪・池田小学校事件を契機に予防拘禁・隔離収容を規定した心神喪失者等医療観察法が制定された。

[1784] 「応益負担」は、公約どおり速やかに廃止するべきだ 2010年2月4日 1時47分

レオンさん e-mail

2010年2月3日(水曜日)の『しんぶん赤旗』に、「日本共産党の志位和夫委員長が、2日の衆院本会議でおこなった代表質問」が載っていました。「なかなかいい質問だ」と私は思いますが、その中の「障害者自立支援法に関する部分」だけ引用したい、と思います。

2010年2月3日(水)「しんぶん赤旗」

志位委員長の代表質問  
衆院本会議

鳩山政権は、障害者自立支援法によって押し付けられた「応益負担」をなくし、速や

かに「応能負担」に転換すると公約し、政権交代後は、今年4月から、まず住民税非課税の障害者への「応益負担」をなくすと約束してきました。ところが来年度予算案では、そのために必要な額の3分の1しか計上せず、「応益負担」を中途半端に残しています。憲法にも福祉の理念にも反する「応益負担」は、公約どおり速やかに廃止すべきではありませんか。

志位委員長の代表質問/衆院本会議

[http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-03/2010020304\\_01\\_0.html](http://www.jcp.or.jp/akahata/aik09/2010-02-03/2010020304_01_0.html)

<http://www.jcp.or.jp/movie/10mov/20100202/index.html>

100パーセント理解している訳ではありませんが、「本当にその通りだ」と、私は言いたいですね。

まへのページ

あたらしいページ

パスワード

削除番号

1795



記事削除

powered by **du one**  
NET